

ふなばしタウンレポート

このパンフレットは、幅広く市民の皆さまの声をお聞きし、市政に反映するために、平成23年7月に実施した「船橋市市民意識調査」の主な結果を取りまとめたものです。

船橋市では、魅力あるまちづくりをめざし、市民の皆さまと一緒に今後の施策を展開してまいりたいと考えております。

このパンフレットが、その際の一助となれば幸いです。

< 「船橋市市民意識調査」の概要 >

- (1) 調査対象 船橋市在住の満20歳以上の男女3,000人
(本年度より船橋市在住の外国人を調査対象に含む)
- (2) 標本抽出 住民基本台帳及び外国人登録原票からの無作為抽出
- (3) 調査方法 郵送法(郵送配布 - 郵送回収法)
- (4) 調査期間 平成23年7月7日(木) ~ 7月21日(木)
- (5) 有効回収数 1,402人(46.7%)

集計は、小数点第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。

(n)は、基数となるべき実数であり、設問に対する回答者数である。
回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出している。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
本文や図表中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。

回答者のプロフィール

(1) 性別

	基数	構成比 (%)
1. 女性	802	57.2
2. 男性	538	38.4
(無回答)	62	4.4
合計	1,402	100.0

(2) 年齢

	基数	構成比 (%)
1. 20~29歳	160	11.4
2. 30~39歳	265	18.9
3. 40~49歳	267	19.0
4. 50~59歳	266	19.0
5. 60~69歳	371	26.5
6. 70歳以上	10	0.7
(無回答)	63	4.5
合計	1,402	100.0

(3) 居住地区

	基数	構成比 (%)
1. 南部地区	337	24.0
2. 西部地区	192	13.7
3. 中部地区	243	17.3
4. 東部地区	283	20.2
5. 北部地区	266	19.0
(無回答)	81	5.8
合計	1,402	100.0

船橋市 市長公室 市民の声を聞く課

〒273-8501 船橋市湊町2-10-25 ☎ 047(436)2784

ホームページ <http://www.city.funabashi.chiba.jp/>

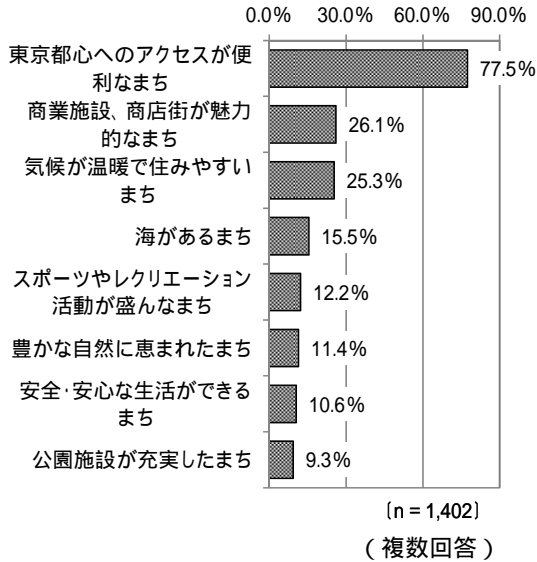
メールアドレス shiminnokoe@city.funabashi.chiba.jp

2011年(平成23年)12月

1 船橋市の魅力と地域資源について

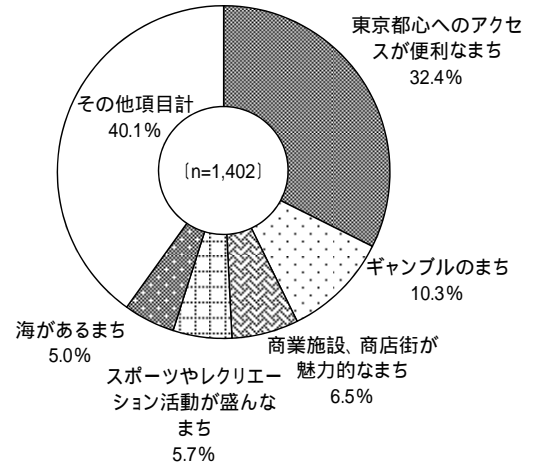
(1) 船橋市の魅力 (上位8項目)

8割強が「東京都心へのアクセスが便利
なまち」と回答



(2) 船橋市のイメージ (上位5項目)

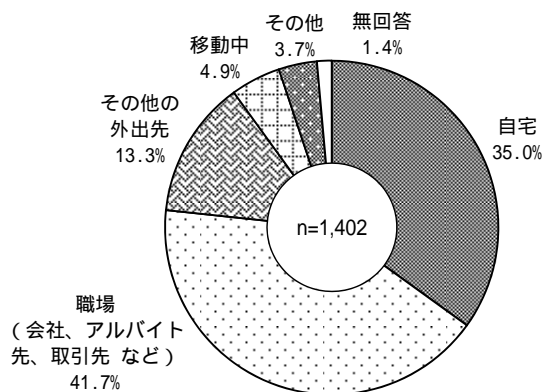
「東京都心へのアクセスが便利なまち」
が3割強



2 東日本大震災における市民意識について

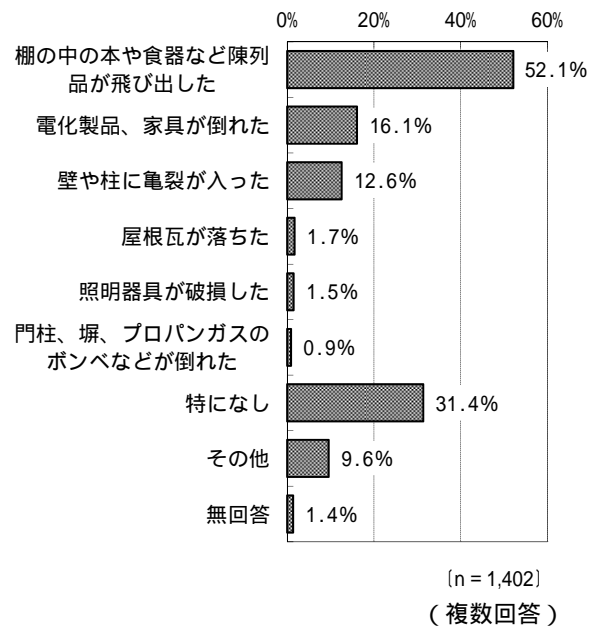
(1) 地震発生時にいた場所

「職場」が4割強



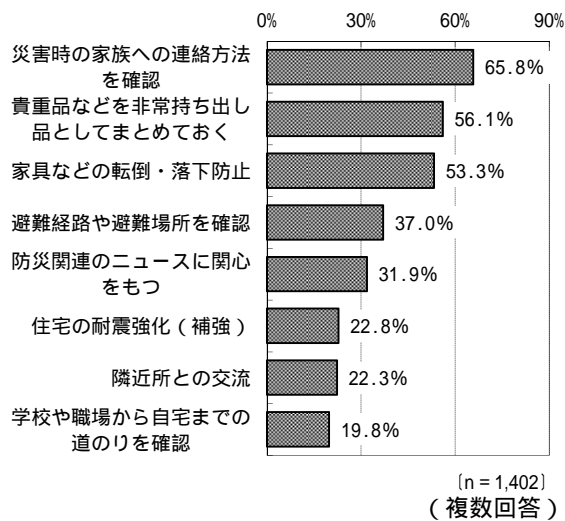
(2) 地震による自宅の被害

5割強が「棚の中の本や食器など陳列品
が飛び出した」と回答



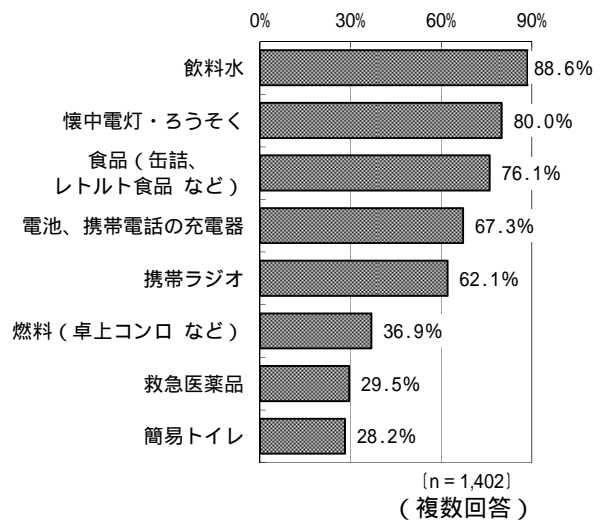
(3) 日ごろ備える必要があると感じた対策 (上位8項目)

6割半ばが「災害時の家族への連絡方法を確認」と回答



(4) 日ごろ備える必要があると感じたもの(上位8項目)

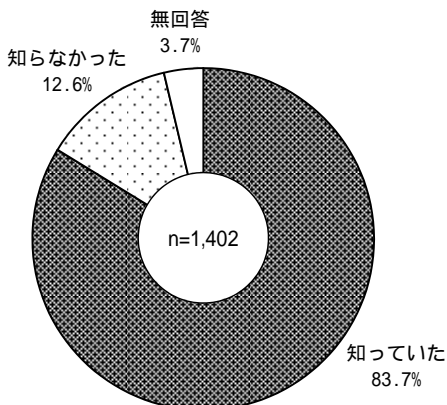
9割弱が「飲料水」と回答



3 火災予防について

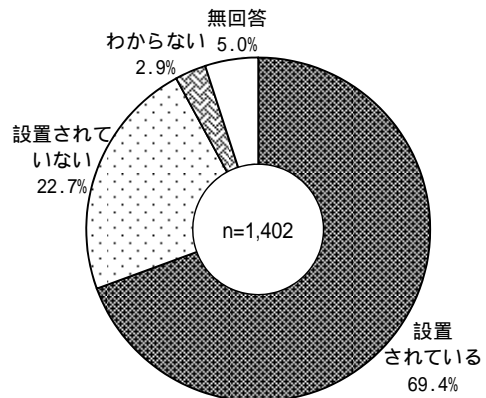
(1) 住宅用火災警報器の設置義務の認知度

「知っていた」が8割強



(2) 住宅用火災警報器の設置状況

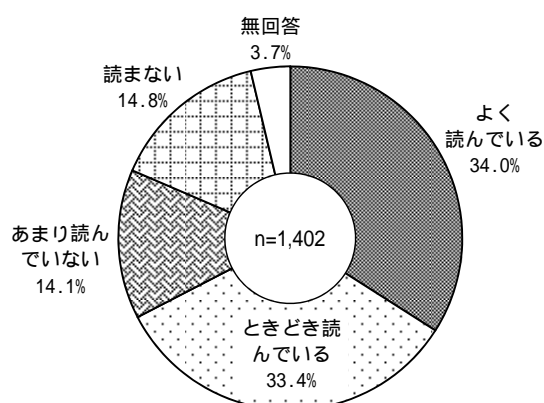
「設置されている」は7割弱



4 広報活動について

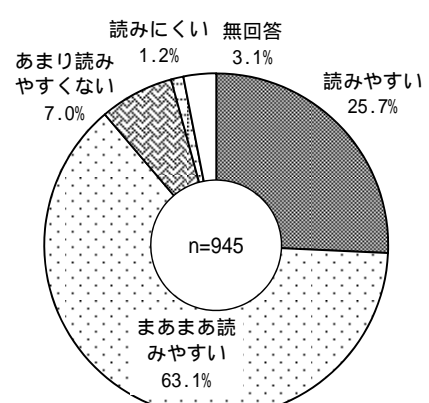
(1) 広報ふなばし

「よく読んでいる」は3割強



(2) 「広報ふなばし」の読みやすさ

“読みやすい”が9割弱

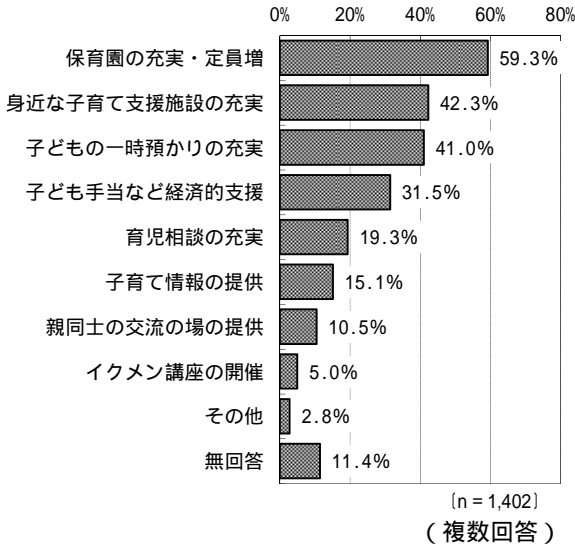


“読みやすい”は「読みやすい」と「まあまあ読みやすい」の合計

5 子育て支援について

(1) 就学前の子どもに対して必要な支援

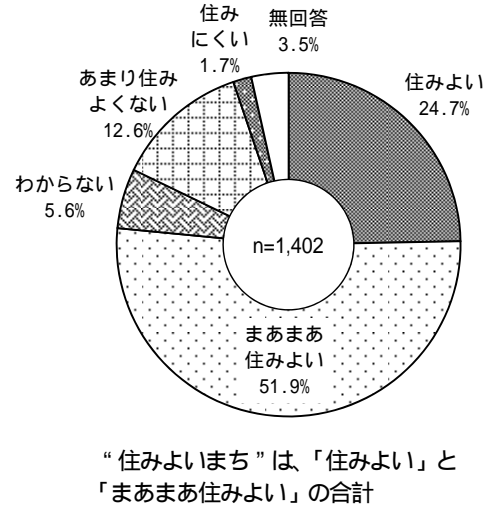
6割弱が「保育園の充実・定員増」と回答



6 住みごちについて

(1) 住みごち

“住みよいまち”と感じている人が7割半ば

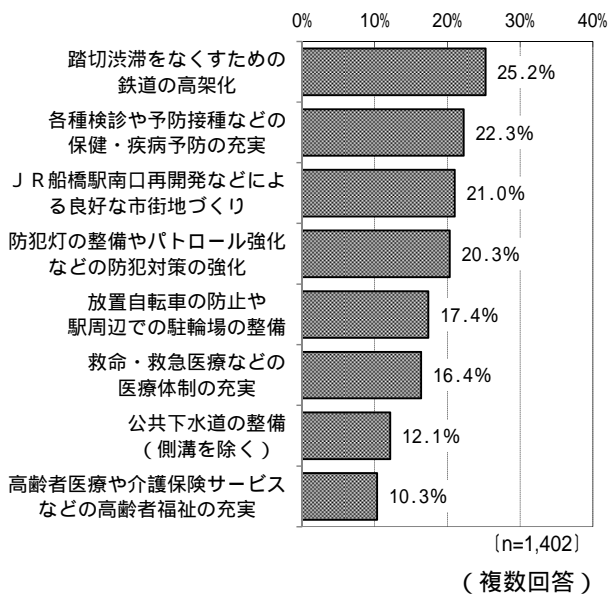


7 市の施策について

(1) ここ数年でよくなったもの

(上位8項目)

「踏切渋滞をなくすための鉄道の高架化」で2割半ばが回答



(2) 今後、力を入れるべきもの

(上位8項目)

「歩道や自転車歩行者道(主に自転車及び歩行者が通行)の整備」と「地震や水害などに対する災害対策の強化」を約3割が回答

